

～水道のお財布～

水道の水は税金ではなく水道料金収入で作られています。

かわ みず じゃぐち なが
川の水が蛇口からでてくるまでの流れ



市の一般的な仕事に要する費用が主に税金で賄われているのに対して、水道事業は費用を水道料金収入で賄う「独立採算制」をとっています。

水道の水を皆さんに届けるためには、さまざまな設備が必要です。黒部川から水を汲む取水場、薬品やろ過で水をきれいにする浄水場、水を送るポンプや水をためる配水池、そして、皆さんのところまで水を届ける水道管などです。

これらの設備を使うためには浄水場で水をきれいにするためのお金や、ポンプを動かすための電気代、古くなった水道管や設備を新しくする工事代など、さまざまなお金がかかります。このお金は皆さんからの水道料金収入で賄っています。

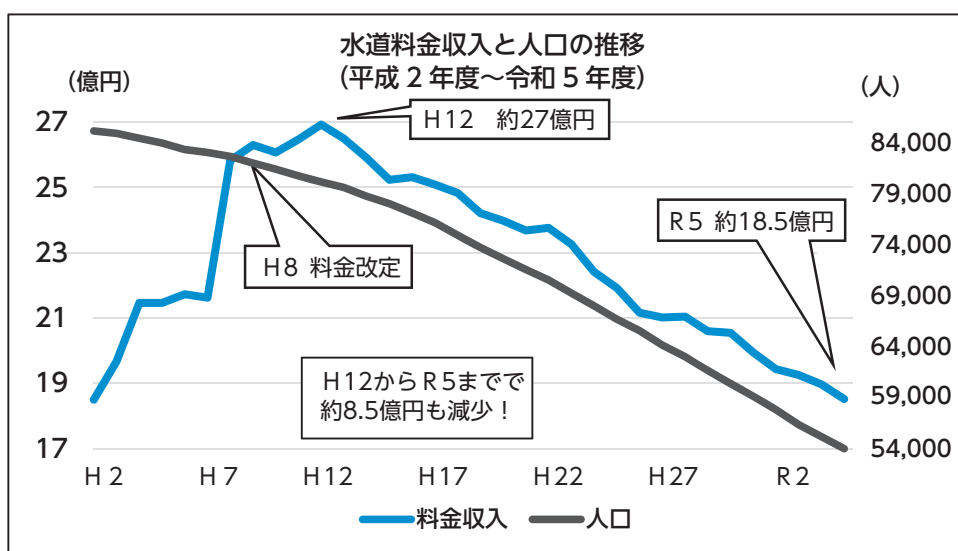
西側の地域では、東庄町にある東総広域水道企業団から浄水された水を買ってお届けしています。



水道事業は今のところ黒字のようだけど、余裕があるの？

銚子市の人口が年々減ってきていることや、節水型の機器が広く使われるようになったこともあり、水道料金収入は年々減ってきています。

この先も水道料金収入の減少が続くと、年度毎の収支が赤字になる可能性が高くなってきます。赤字が続くと、水道事業を続けていくために料金を見直さなければなりません。



水道料金収入が年々減ってきているのに対して、水を作るために必要なお金は、電気代や薬品費などの高騰の影響もあり、増加しています。また、古くなった水道管や水道施設を新しくしたり、地震などの災害に強くしたりするためのお金も必要になります。将来のことを考えると、水道事業は決して余裕があるわけではなく、むしろ、厳しい経営状況になることが予想されます。